

## 提案

日付：2025/10/27

件名：125cc バイクナンバーについて

### 1. 問題、課題

125cc ナンバーは他市町ご当地ナンバーです。藤沢→江ノ島、平塚→海、座間→ひまわり、海老名→えびーな 他大和、厚木、大磯もあったと思います。寒川だけがなく寂しいです。寒川神社は宗教関連なのでNGと以前に伺いました。


### 2. 改善案

寒川町ご当地ナンバーを作成する。現在は ロゴマークを作成されたので、寒川町マーク（又は梶原景時のシルエット）を使用したご当地ナンバーを願います。

寒川町ロゴを使用した品格のあるナンバー、又は梶原景時のシルエットを使用等、他品格のあるものを。

### 3. 改善後の効果

他市町でご当地ナンバーが多数あり、町内での125cc ナンバーは目につきます。寒川町をアピールする効果は大きいと思います。上記の通りご当地ナンバーは目立ちます。

※人口少なく費用対効果もありますが、 マーク入りのナンバーをつけたいと希望しています。

---

## 回答

<125cc バイクナンバーについて>

【所管：税務収納課】

この度は、「わたしの提案」（町長への手紙）に貴重なご意見をご提案くださりまして、誠にありがとうございます。

原動機付自転車等のナンバープレートは、軽自動車税（種別割）を課税するための課税標識であります。その役割は、どの区分の税率が適用されているか、標識番号が何番であるかを視認できるようにすることにありますので、課税客体の把握・管理に関連しないものの表示は本来の目的には含まれないものと考えております。また、現状としましては、ご提案者様にご指摘いただいた通り、費用対効果を鑑みると実現は難しい状況です。

一方で、ナンバープレートが視認されるということは、数多くの通行人等の目に留まるということであるため、そこに何らかのメッセージ性のあるものを表示し、他の市町村との差別化が図られるようなデザインにすることは、一定の効果を生じさせることが期待できるものと考えております。

従いまして、今後課税標識以外の目的でナンバープレートを活用すべき事由が生じた際には、課税標識としての目的や役割を阻害しないデザインで作成すべきと考えております。

本町では、今後も良いまちと認識され、選ばれるまちとなるよう様々な方策を講じてまいります。ご提案者様におかれましても引き続き町に寄り添ったご意見をご提案くださいますようお願い申し上げます。

**【所管：企画政策課】**

このたびは「高座」のころ。のブランドマークをバイクのご当地ナンバーとしてご提案をいただき、誠にありがとうございます。

町民の皆さまからブランドに対する関心が寄せられることは大変嬉しく思っております。

2018年から活用を開始した「高座」のころ。のブランドマークにつきましては、令和6年度に町で実施しましたブランド浸透度調査において「ブランドマークを知っている」と回答した人が73.3%を占め、ブランドマークの認知は一定程度進んでいるものと認識しております。

今後の課題は「マークの認知」から「ブランドがもつ存在意義とその共感」へと繋げていくことにあるため、町の施策を通して提供する価値「一歩先の安心」がもつ意味やブランドスローガンを体現した取り組みを、町民の皆さまとともに共有していくことが重要と考えています。

そのため、ブランドを活用した事業展開では、町民の皆さまがブランドの持つ価値を実感できる機会を創出し、「高座」のころ。が単なるシンボルではなく、寒川町の暮らしの中に息づくものとして認識していただけるような取り組みを行ってまいります。

ご提案いただいたアイデアは、ブランド展開における一つの方策として参考にさせていただきます。今後もブランドを通じた寒川町の魅力と認知度向上に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。